

共同生活援助（グループホーム）



グループホームでは余暇活動として、１１月１日に土岳山登山、８日に小木津山自然公園の散策を行いました。コロナウイルス感染防止のため、マスク着用や手洗い、アルコール消毒を徹底しての外出でしたが、利用者様からは「久しぶりに身体を動かして気分転換ができて良かった！」との声が聞かれました。また、１２月には再び土岳山登山と土岳山周辺の散策に分かれて外出しました。紅葉を見てみんなで「綺麗だね！」と声を弾ませている姿が見られました。今後もコロナウイルス感染防止を徹底しながら、利用者様の気分転換につながる企画を実行していきます。

（担当／生活支援員 馬淵）

看護師より

コロナウイルス感染症予防対策へご理解・ご協力頂き誠にありがとうございます。現在も、手洗いの徹底やこまめな除菌等、衛生管理を強化して行っております。また、地域の感染状況などの情報収集を行い、迅速な対応が取れるような体制をとっております。また、インフルエンザ流行の兆しが見えてきましたので感染予防には、適度な温度と湿度を保ち、うがいやマスクの着用、水分を細目に摂るなどを積極的に行っております。今後とも利用者様が安心して通所して頂けるよう、ゆいの環境を整えて行きたいと思います。

（担当／看護師 平田）

新職員紹介

入職日	氏名	コメント
8月1日付	有馬 すなお	利用者様に寄り添い、サポートできるように一生懸命努めてまいります。よろしくお願いいたします。

お知らせ・お願い

当施設の正面玄関にて竹炭製品を販売しています。竹炭には空気中のマイナスイオンを増加させる効果があり、空気をクリーンに保ちます。主にリバティ若栗の利用者様が作業訓練の一環として製作しました。今後、ゆいでも一部製作する予定となっております。ぜひご利用ください。
【販売価格】竹炭・脱臭袋・竹酢液 各200円（税込）
お徳用竹炭・竹炭入り人形 各500円（税込）



現在、館内各所のコロナウイルスの感染防止で、除菌を行う為に古布を使用しております。ご家庭で不要となりました古着のシャツ、タオル類などがありましたら、お分け頂きたい、ご協力のほどよろしくお願い致します。

リバティゆい Times

第16号 令和3年（2021年）1月発行

社会福祉法人 親交会
リバティ・サポートセンターゆい
〒318-0034 高萩市高萩 45-1
TEL:0293-23-6890
FAX:0293-23-6897
E-mail:yui@liberty-w.or.jp

新年のご挨拶

リバティ・サポートセンターゆい
センター長 井坂 正子

新年あけましておめでとうございます。コロナ禍の中、どんな新年を迎えられたでしょうか？いつものお正月とは、全く違っていただい事でしょう。コロナウイルスとの戦いは早いもので1年以上が過ぎましたが、まだまだ続きそうです。年明け、利用者の皆様に「いろいろなことに挑戦してほしい」とお話させて頂きました。できることを増やしたり、やりがいを見つけて頂きたいと切に思います。利用者様の笑顔は、職員全員の願いです。コロナウイルスやインフルエンザ、ノロウイルスに負けず今年も元気に通所して頂きますように心から祈念いたしております。どうぞ今年もご理解ご協力の程宜しくお願い申し上げます。

ピンチをチャンスに！	明けましておめでとうございます
昨年、いつもの年と違い規制（密閉、密集、密接）があり、ゆいの活動や行事内容も変わり、利用者様も残念に感じたことと思います。しかし、今までマスク着用が難しい利用者様がマスク着用できるようになりました。また、突然の内容変更が苦手な不安になっていた利用者様が、少しずつ周囲の状況を把握して受け入れ、生活できるようになってきたと思います。コロナ禍の中で「ネガティブ思考」になりがちですが、「ピンチをチャンスに」変換してポジティブ思考で行きたいですね。今年度も残り3ヶ月となりましたが、何かひとつでも1人ひとりの利用者様が習得できるように日々支援して行きたいと考えております。今後ともご協力宜しくお願い致します。	昨年はコロナウイルス対策として体温測定その他、体調管理の徹底に努め、出来るだけ外出を控えるようにしておりました。本年も感染予防について出来る限りの対策を実施し、昨年以上に楽しみの機会を多く持てるよう創意工夫を凝らした行事や余暇活動を実施したいと考えています。また、個々の生活の質の向上に向けて、関係機関及びご家族の皆様と連携を図り、支援をしていきたいと思ひます。これからも利用者様、ご家族の皆様や地域の皆様から信頼して頂ける施設となるよう努力して参りますので、今後ともご支援とご協力をお願い申し上げます。
サービス管理責任者 加藤 裕子	グループホーム担当 入江 幸恵

【利用者様及びご家族様へのお願い】

新年に入り、コロナウイルス感染者が高萩市内及び近隣地域に急増しております。感染者には福祉施設関係者もあり、誰がいつコロナウイルスに感染してもおかしくない状況です。利用者様が今まで通り通所できるよう当施設も万全を尽くしますが、利用者様及びご家族の皆様におかれましてはコロナウイルス感染を防止する基本の徹底（三密の回避、手洗い、マスク着用、アルコール消毒、不要不急の外出など）を今まで以上に実施して頂きますようご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

活 動 の 様 子

就労移行支援・就労継続支援B型



昨年来のコロナウイルスの影響で作業量は減少していますが、協力企業様の応援を頂きながら日々作業に励んでいます。

日々の目標を「作業スピードをあげる」ことから、「丁寧に作業する」ことに転換した結果、社外不良がゼロになり、結果少量ではありますが、協力企業様から次々に新規作業を頂けています。

職員、利用者様が共に「コロナウイルスに負けないぞ」を合言葉に手洗い、うがい、除菌を徹底して安心安全な場を提供していきます。

また、9月からは昼食後にストレッチなどの運動を取り入れており、利用者様の体力づくりを行っています。はじめはできなかった身体の動きが段々とできるようになり、利用者様が怪我をしない身体になることを目指しています。

(担当／生活支援員 齊藤)

自立訓練（生活訓練）

自立訓練は利用者様に添ったプログラムを毎日行っています。歯磨きや掃除、洗濯など日常生活で行うことを自立できるように支援しております。現在は幅広く行うのではなく、重点項目を設定して一つのことをしっかりと身に付けるように繰り返し行っております。利用者様が身に付けると同時に職員も再確認し、支援の向上に努めています。

(担当／生活支援員 鈴木)

生活介護



生活介護では身体を動かす活動を中心に行っております。コロナウイルスの影響を考慮し、屋外活動を一時的に自粛していましたが、現在は密にならない場所選びと消毒等の対策をして、屋外での活動を再開しております。青空の下、ウォーキングやランニング等で身体を動かし、利用者様の笑顔が見られています。

買い物学習は密になりやすく控えておりましたが、お弁当の注文という形で内容を変更して再開しました。デリバリーしてくれるお店のメニューから自分で食べたいお弁当を注文しています。

コロナウイルスの影響で大きな活動は出来ませんが、出来ることの中から楽しんで活動していけるようにしています。

(担当／生活支援員 川原吹)

放課後等デイサービス



コロナウイルスで世間が暗い中、毎日元気な子どもたちの姿に元気をもらって職員も活動しています。土曜日には書道やお茶会を月に1回ずつ、行事では山登りやクリスマス会等を実施しました。活動内容や感染予防などコロナ禍でも活動できるように考え、計画しています。今後も保護者様と連携しながら、様々な経験ができるような活動を考え、1人ひとりの成長を見守り、支援していきたいと思ひます。

(担当／生活支援員 大高)

イベント

昨年はコロナウイルスの影響で三密を避けるために様々なイベントを行いませんでした。しかし、少しでも利用者様の楽しみとなるよう、地域の飲食店にご協力いただき、12月28日にゆい施設内でクレープ販売を行いました。各々好きなメニューを頼んでおいしそうに食べていました。「おいしい!」「またきてほしい!」などの感想があり、大変好評でした。

